

イーストスプリング・  
アジア・オセアニア  
好配当株式オープン  
(毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2019年9月18日～2020年3月16日

第162期 2019年10月15日決算 第165期 2020年1月14日決算

第163期 2019年11月14日決算 第166期 2020年2月14日決算

第164期 2019年12月16日決算 第167期 2020年3月16日決算

日経新聞掲載名: アジオセ

第167期末	基準価額	6,027円
	純資産総額	3,414百万円
第162期～ 第167期	騰落率	-15.6%
	分配金合計	120円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

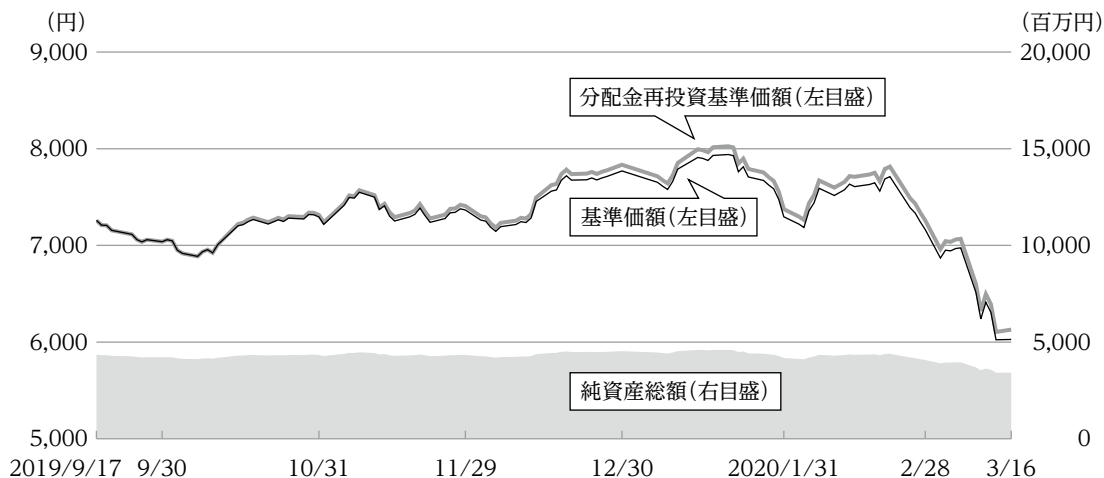
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2019年9月18日～2020年3月16日)



第162期首	7,260円
第167期末	6,027円 (既払分配金120円)
騰落率	-15.6% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

下落要因

- ・アジア・オセアニア地域の通貨が円に対して下落したこと。
- ・エネルギーセクターなどの保有銘柄の株価が下落したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2019年9月18日～2020年3月16日)

項目	第162期～第167期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	64円	0.870%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、7,321円です。
(投信会社)	(33)	(0.452)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(28)	(0.381)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.048	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均 受益権口数
(株式)	( 3)	(0.045)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(投資信託証券)	( 0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	4	0.051	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均 受益権口数
(株式)	( 4)	(0.050)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
(投資信託証券)	( 0)	(0.001)	
(d) その他費用	4	0.057	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 1)	(0.013)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	( 0)	(0.001)	台湾、インドの税務代理人に対する手数料
合計	75	1.026	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

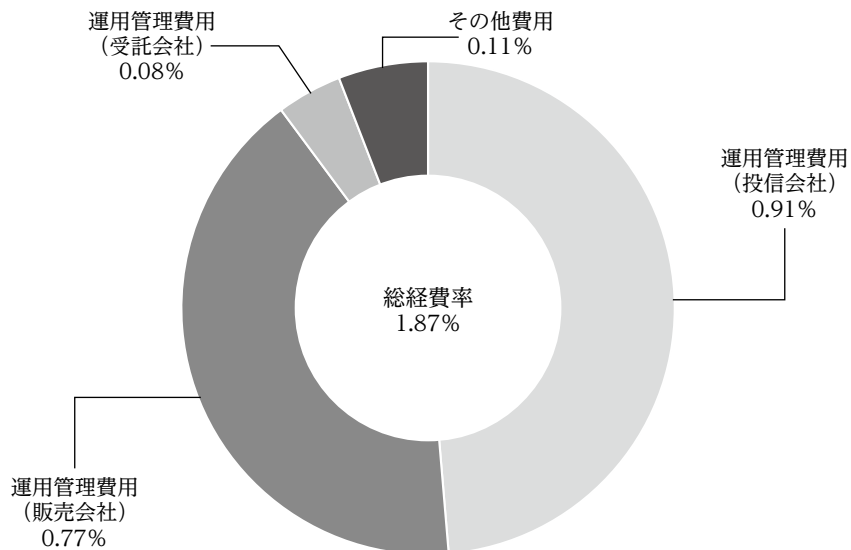
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## (参考情報)

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2015年3月16日～2020年3月16日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年3月16日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2015/3/16	2016/3/14	2017/3/14	2018/3/14	2019/3/14	2020/3/16
基準価額	(円)	8,779	6,900	7,905	8,498	7,628	6,027
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	-18.9	18.6	10.7	-7.4	-18.3
純資産総額	(百万円)	10,580	6,845	6,748	5,939	4,783	3,414

\*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### アジア・オセアニア地域の株式市場

当作成期のアジア・オセアニア地域の株式市場は、新型コロナウイルスの感染が2020年に入り世界レベルで拡大していることを受け、景気後退入りへの懸念から大きく下落する展開となりました。

当作成期初から2019年末までは、米中貿易交渉の進展や中国経済における減速懸念の後退などを背景に、株式市場は上昇基調で推移しました。2020年に入ると、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、経済活動の停滞が世界レベルで起こりました。こ

のような状況が長期間続いて雇用が打撃を受けることが想定され、市場では景気後退入りへの懸念から、株価は大きく値を下げました。作成期中における業種別の値動きでは、ヘルスケアや情報技術が上昇した一方、エネルギーや素材などは下落しました。

### 為替市場

アジア・オセアニア地域の多くの通貨は、景気後退入りへの懸念から円に対して下落しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行いました。

### イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指しました。当作成期の投資行動では、バリュエーションが魅力的な水準にあり値上がりが期待できる銘柄の中から、配当利回りが

相対的に高い銘柄や今後の増配が期待できる銘柄などに注目し、市場を上回る平均配当利回りの水準を維持しました。

組入比率については、国・地域別では、中国（香港上場）などを引き上げる一方、シンガポールなどを引き下げました。セクター別では、コミュニケーション・サービスなどを引き上げる一方、金融などを引き下げました。

個別銘柄のパフォーマンスについては、台湾の半導体受託製造大手であるTSMC／台湾セミコンダクターの保有などがプラス要因となりました。一方で中国（香港上場）のエネルギー大手であるシノペックの保有などはマイナス要因となりました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2019年9月18日 ~2019年10月15日	2019年10月16日 ~2019年11月14日	2019年11月15日 ~2019年12月16日	2019年12月17日 ~2020年1月14日	2020年1月15日 ~2020年2月14日	2020年2月15日 ~2020年3月16日
当期分配金 (円)	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率) (%)	0.277	0.273	0.264	0.252	0.262	0.331
当期の収益 (円)	—	13	5	5	6	5
当期の収益以外 (円)	20	6	14	14	13	14
翌期繰越分配対象額 (円)	668	662	648	634	621	607

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

引き続きイーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

### イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

世界規模での新型コロナウイルスの感染拡大による影響を軽減するため、各国の財政出動や中央銀行による利下げ、流動性供給に対して市場は反応を示していますが、ボラティリティが高い状態が続くと思われます。足元の株式市場の反応は長期的な視点を持った投資家にとって、財務体質が健全な企業を割安な水準で組み入れる機会をもたらしてくれると考えられます。

引き続き分散投資によりリスクの低減を図りながら、先進国と比較して相対的に高い経

済成長が期待される日本を除くアジア・オセアニア地域の株式へ投資を行います。今後も、個別銘柄のキャッシュフローと配当の持続可能性に注目したりサーチに基づき、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行う予定です。アジア・オセアニア地域の株式は米国や欧州などの主要株式市場との比較だけでなく、過去との比較においても割安な水準にあると思われます。株式市場がマクロ経済などのニュースに敏感に反応するような局面では、株価の短期的な変動にも耐えうる投資期間を設定し、ファンダメンタルズとバリュエーションを十分に見極めるという投資の基本に立ち返ることが重要と考えられます。企業のファンダメンタルズと関係なく株価が変動する局面では、財務体質の強い銘柄への投資機会をうかがってまいります。



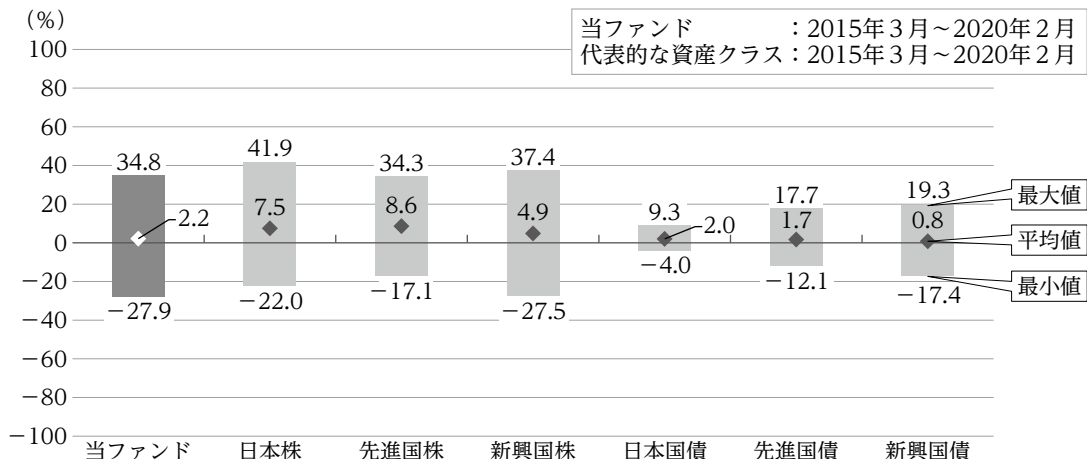
## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2006年3月30日から2026年3月16日まで	
運用方針	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン（毎月分配型）	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	日本を除くアジア・オセアニア地域の株式を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン（毎月分配型）	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への実質投資割合には制限を設けません。</li><li>・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li></ul>
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への投資割合には制限を設けません。</li><li>・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li></ul>
分配方針	毎決算時（毎月14日。休業日の場合は翌営業日。）に、主に配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。また、3月、6月、9月、12月の決算時には、配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	JPMorganGBIグローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

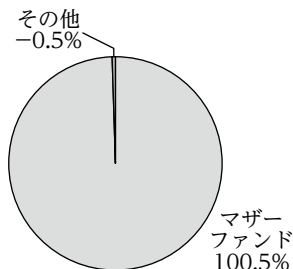
#### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

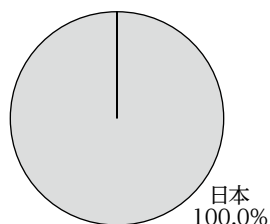
ファンド名	第167期末 2020年3月16日
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	100.5%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

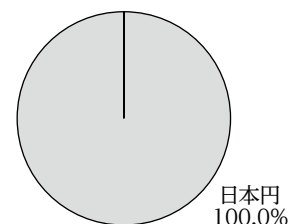
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

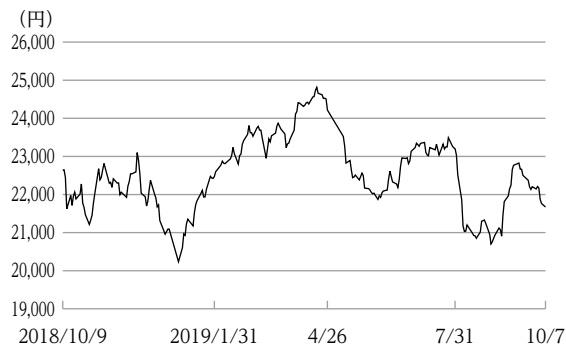
項目	第162期末 2019年10月15日	第163期末 2019年11月14日	第164期末 2019年12月16日	第165期末 2020年1月14日	第166期末 2020年2月14日	第167期末 2020年3月16日
純資産総額 (円)	4,299,677,729	4,318,590,994	4,434,841,378	4,592,369,830	4,344,734,150	3,414,520,881
受益権総口数 (口)	5,969,855,197	5,913,821,107	5,865,057,346	5,805,837,096	5,710,803,068	5,665,598,230
1万口当たり基準価額(円)	7,202	7,303	7,561	7,910	7,608	6,027

\*当作成期中(第162期~第167期)において追加設定元本額は64,095,798円、一部解約元本額は394,303,217円です。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド>

基準価額の推移(2018年10月10日～2019年10月7日)

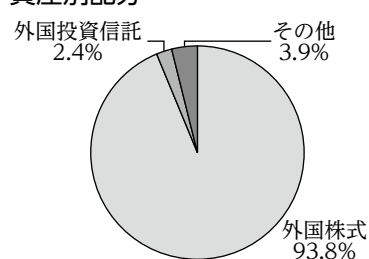


組入上位10銘柄(組入銘柄数：63銘柄)

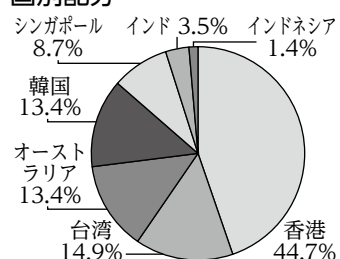
(2019年10月7日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Tencent Holdings Ltd	メディア・娯楽	香港	6.3%
Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体・半導体製造装置	台湾	5.3%
Samsung Electronics Co Ltd-Pref	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国	4.3%
China Construction Bank Corporation	銀行	香港	3.4%
China Mobile Ltd	電気通信サービス	香港	2.5%
CK Hutchison Holdings Ltd	資本財	香港	2.3%
China Merchants Bank Co Ltd	銀行	香港	2.3%
DBS Group Holdings Ltd	銀行	シンガポール	2.1%
United Overseas Bank Ltd	銀行	シンガポール	2.1%
China Petroleum & Chemical	エネルギー	香港	2.1%

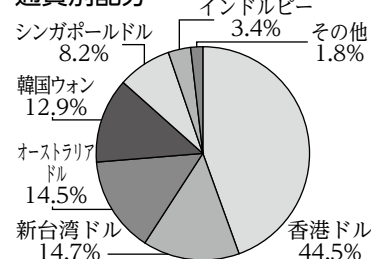
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注2) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は、株式が上場されている主要な金融商品取引所の所在国・地域を記載しています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 1 万口当たりの費用明細

(2018年10月10日～2019年10月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	22円	0.097%	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、22,524円です。
(株式)	(21)	(0.092)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	( 1)	(0.005)	
(b) 有価証券取引税	17	0.078	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(17)	(0.077)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	( 0)	(0.001)	
(c) その他費用	15	0.067	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(15)	(0.067)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	( 0)	(0.000)	
(その他)	( 0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	54	0.242	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。